

# 会 報

## 地区校長会たより

### 〔宇都宮市校長会〕

1. 4月5日、新会長以下各業務担当の組織をつくる。特に本年は、現場に即したりアルな諸問題を研修の重点として運営につとめることにする。
2. 6月14日、市内18校を4ブロックとして、それぞれ研修課題を次のとおり設定。
  - 1 班 部活動にかかわる諸問題
  - 2 " 生徒指導に " "
  - 3 " 学習指導に " "
  - 4 " 職員構成に " "

本市会員をもって、県の事務局を構成しているため関連の業務多忙ではあるが、市の定例校長会終了後も、ブロック、全体討議を重ねて近く紀要とする段階である。

3. 11月30日、高校進学者増にともなう本学区内の普通科高校増設、学級増などを内容とした要望書を市P連会長連署をもって関係機関に提出。
4. 11月12日、ゆとりある新教育課程編成と学校運営の基本方向について、事前資料をもとに討議し全日中に意見具申。
5. 5月8日の総会を始め、理事、協議員会ならびに11月19日の義務教育振興大会には、全員参加して各業務の推進に協力。

### 〔河内地区校長会〕

わたしたちは7人の僅少グループだ。いつも和気あいあい、揃って研修に励む。

例年、退職や転任などで会を離れる会員には、郡の小中学校長会で送別会を4月中旬に行った後、落着いたところで、6月に研修会をもつ。本年は6月10日筑波学園都市の構成と国立教育会館分館の視察を、退職1名転任2名を招き10名で行った。分館長の前本県教育長鈴木奎吾先生が大喜びして下さい、館内の案内と、館のマイクロバスを出して、学園都市を一巡同乗と説明下さって、まる1日有効な研修ができた。

これも例年、関プロ大会、全日中大会にも、特別の事情のない限り全員揃って参加、大会の雰囲気にもふれ、見聞を広め研修する。本年も6月の関プロ新潟上越大会、全日中長崎大会には、校務の都合で出発、帰着に遅延はあったが、全員参加して研修した。

4月7月10月12月3月には16小学校と合同の、5月9月2月には中学校のみの研修協議会をもつ。

11月には、10月の小中学校長会で協議した町村負担金、補助金の要望案を、小中の代表者と町村教育長さんと研究して、郡町村会事務局に提出する。

### 〔上都賀地区校長会〕

#### I 本地区研修の経過

1. 5月18日 役員研修会、今年度研修主題と事業計画協議、全会員33名から希望主題と問題点を提出し、研修部で検討することになる。
2. 6月10日、研修部会、研修主題案を作成、次期全体研修会へ提案する。
3. 7月2、3日(1泊)日光市、東照宮会館及び10月4日、今市落合中で継続して研修会を開き、県中の研修主題にせまる研修協議題を選び5分科会において研修した。
4. 3月4、5日(1泊)鬼怒川で研修会を開き今年度研修協議された内容のまとめと「研修紀要」を作成する。

#### II 各研修協議題とその主な研修項目

1. 主任制度の実施について、○校務分掌への位置づけ、○指導助言のあり方等  
生徒指導上の諸問題 ○生徒指導体制の検討

- 生徒理解，自己実現をはかる手だて等
- 3 現職教育について，○日常の実践活動をとおして教師の変容を求める具体的方策等
- 4 特別活動及び日課表について ○教育課程内での自主性を育てる生徒活動○校時と日課表等
- 5 部活動について ○学校教育活動への位置づけ ○部活動の望ましい在り方の検討等

### 〔芳賀地区校長会〕

会長，副会長2名，庶務会計2名で組織しており中体連，中教研は1人1役で担当してその推進に努めている。

1. 毎月20日を小・中合同校長会の定例日として教育事務所，芳賀広域教育委員会と一体になり会議研修を行なっている。

(本年初めての計画であったが，市町教育長6名との会合と，指導主事との会合とをそれぞれもって，要望や反省など出し合っの意見を交換したことは得るところが多かった。)

2. 中学校校長会は会場持廻りで隔月に開催し，次のような内容の研修をした。
  - ・ 無人化における施設設備の管理と生徒指導上の課題について
  - ・ 教育課程の基準の改善について
  - ・ 学校管理上の諸問題について
  - ・ 同和教育について
  - ・ 高校の推せん入学について
3. 9月上旬，安定所のご尽力によって，中学，高校校長の1泊による職場視察を行ない研修をすると共に，親睦を深めるのにも役立てた。

### 〔下都賀郡校長会〕

1. 会長君島光夫(石橋中，9代目)副会長鈴木忠一(大平中)庶務徳田代吉(藤一中)会計藤井育史(国分寺中)調査新井次郎(岩舟中)研修瀬下吉雄(野木中)編集榎木恒(稲葉中)職員対策縫田新三郎(藤二中)修学旅行石川太四郎(兩犬中)福祉厚生

猪野富夫(壬生中)連絡対策岸正一(都賀中)  
2. 毎月定例校長研修会は校長のみの会と生徒指導主事又は教務主任と合同の時とがある。

4月には教育事務所長の指導。5月は主任制度と学校経営。7月は関プロ大会を中心に。修学旅行の反省を。9月は田中正造の現地研修。10月は部活動と同和教育。11月は予算について。11月5.6は名古屋付近の合同研修(祖東中)。1月は生徒指導について。2月は新教育課程の改訂の動向(篠原校長)3月は研修のまとめと新年度の計画。

3. 下都賀地区小・中校長連絡会がある。ここでは小・中合同で歓送迎会をしたり。10人の教育長の指導，懇談を2回行なう。また，下都賀地区中学校のみの小山，栃木，都部の校長会を教育事務所長及び教育課長，管理，庶務課長を指導者として行なう。
4. その他，運営の方針

研修は，各中学校巡回。関係諸機関を借用して，共通理解と特色，個性を尊重して運営している。

### 〔小山市校長会〕

小山市では次のような研修を継続して進めてきた。

1. 研究テーマ 「進路指導における校長の役割」
2. 研究計画と内容
  - 5月20日 計画立案・主題決定
  - 6月24日 進路指導の意義・校長の役割
  - 8月17日 校長の指導性・校内組織と協力
  - 9月17日 現場指導主事から進路指導の問題点について説明を聞き協議
  - 10月19日 小山中学校の進路指導に関する発表会に参加して研修
3. 主題設定の理由

学校教育法第36条に中学校教育目的実現のため三つの目標が示されているが，特に二と三項は小学校にないことで，進路指導の重要性を意識する上で大なる根拠となるところであろう。

現代社会世相は価値観の多様化を来たし，教育に関しては実に多様な考え方や主張が述べられている実情である。

現場を預かる我々としては常に生徒や学校の現

状を直視しながら社会の進展を見通して対処していかなければならないであろう。進路指導の要は全校一致の協力指導体制を確立し，指導主事を要として推進するが，何よりも校長自身の姿勢こそ重要であろうという認識に立って主題を設定した。

### 〔栃木市校長会〕

本市は，数年来小中校長会が同じ当面する研究課題を掲げ研究を進めて来ている。本年度は下記のように研究を進めたので，その概要を報告する。

- I 研究テーマ 同和教育について
- II 研究方針
  - 1 各校が当面する同和教育上の問題点を出し合い，その解明につとめる。
  - 2 同和問題に関する生徒および地域の実態はあくにつとめる。
  - 3 実践につながる同和教育の指導計画を作成する。

### III 研究方法と日程

- 1 班を編成し，班と全体会で進める。
- 2 研究日程
  - 5月21日 オリエンテーションと班別討議
  - 6月1日 上田市立第一中で現場研修
  - 6月22日 班別討議・全体研修
  - 8月23日 同和問題に関する映画鑑賞討議
  - 11月19日 各班別の研究発表と討議，講話 講師 群馬県新田町立生品中学校長 小林俊二 先生

V まとめ 同和問題に関する地域，生徒の実態がわかり，基本目標具体目標・指導計画を作成

### 〔塩谷地区校長会〕

1. 研究主題を，豊かな人間性を育てる中学校の教育はいかにすべきか。
2. 努力目標として，教育の重大性に鑑み校長自らの姿勢を正そう。
3. 研修

月 日	研 究 内 容	研究発表者
6/29	生徒指導における事例研究	飯島寿太郎校長 大貴 順作校長
8/17	部活動の諸問題とその対策について	菅又 隆典校長 小池 秀夫校長
10/21	教師の主体性を育てる学校経営	五月女正男校長 渡辺 忠男校長
12/3	進路指導における諸問題	太田 友一校長 和気 政夫校長
2/8	生徒の徳性を高める生徒指導	津浦 敏恵校長 兼崎 才助校長

### 〔那須地区校長会〕

#### ◇研修活動の概要

1. 「那須の教育の歴史性を尊重し，新しい時代の展望に立った那須地区小・中学校の教育振興をはかるにはどうしたらよいか。」を研究主題に①創造性の伸長をはかるための学校運営 ②進路志望の現状から適切な進路指導の在り方の2副題2分科会を構成し，市町村単位に研修を積み，9/6.7小中学校長那須全体研修会に於てその成果を発表し研修する。
2. 6/24 「学校評価と学校経営の充実」をテーマに研修(教育事務所共催)
3. 6/16~18 関プロ新潟大会に13名参加
4. 8/9 中学校長黒羽研修会  
小中学校長会研究主題についての事前研修会(分科会別)
5. 10/14~15 全日中長崎大会に4名参加
6. 11/16 中学校長塩原研修会  
当面する学校経営上の次の諸問題について，市町村ごとに分担，事前研修のうえ，当日提案研

究協議を行う。

- (1) 部活動運営と問題点
- (2) 学校行事の実施とその問題点
- (3) 新入大会の実施とその問題点
- (4) 高校進せん入学について

※併せて各種大会参加研修報告を行う。

- 7.1/24 進路、生徒指導研修会
  - 8.2/17 中学校長大田原研修会
- 本年度最終研修会として、次の事項について研修する。

- (1) 改訂教育課程の諸問題
- (2) 年度末における生徒指導について
- (3) 進路指導について
- (4) その他学校経営上の諸問題

以上、本年度の研修概要について報告する。

### 〔南那須地区校長会〕

去る4月佐藤三尾谷両校長を送り、新たに大谷、大橋両校長を迎え新しい計画のもとに出発いたしました。今年は研修を重点に進んでまいりましたがその概略を述べてみます。

#### 1. 小中合同による研修

##### ◎研修テーマ

主任制の特色を生かした学校経営の組織編成

##### ◎研究内容

- ①主任の位置づけ…主任制度の性格と主任の任務から……
- ②校務分掌運営組織図の検討
- ③運営上の諸問題

#### 2. 中学校部会による研修

##### ◎研修テーマ

当地区中学校における生徒指導の問題点とその究明 学校経営管理の立場から

##### ◎研究内容

- ①アンケートによる調査結果
- 南那須地区における生徒指導の問題点
- ②調査結果の集約
- a 全体像の把握 b 具体策…全体計画の再検討・教科指導と生徒指導・学校行事と生徒指導・外
- ③新年度の体制作り

### 3. 先進校視察・東京都台東区立上野中学校 ……国際性を身につける教育実践について研修……

### 〔安佐地区校長会〕

安蘇郡中学校長会と佐野市中学校長会とは別組織であるが、中心的活動は一体となって推進している。本年度のその主要なものをあげてみると次のようになる。

#### 1. 研修会の開催

4月から1月にわたって計8回の研修会を開催し（通常、午前中は小学校長会と合同）当面する諸問題について研究協議した。

午後は中学部会とし、学校経営の諸問題特に生徒指導、進路指導についての研究を深めた。

#### 2. 研修視察の実施

安蘇郡中学校長会では、10月に（2泊3日、小学校長会と合同）岡山市立大井小学校（同和教育）を、1月に（1泊2日）前橋市立南橋中学校（生徒指導）を視察した。

佐野市中学校長会では、10月に（2泊3日、小学校長会と合同）高知市立小高砂小学校（同和教育）を、12月に（1泊2日）館山市立西岬中学校（進路指導）を視察した。

安佐地区内小・中校長会合同で、10月に（日帰り）福島市立第二中学校（学校経営）を視察した。

#### 3. その他

高校入学者選抜制度改善についての意見調査、業者テスト実施状況調査等を実施し、活用を図った。

### 〔足利市校長会〕

本年度は研修に重点をおく。その概要次のとおり。

5/17 6/14 7/13 部活動の組織、運営。昨年度より市交付金1.540万円交付されたのに対応し検討、（部設置・新入生の入部・活動時間・活動の中（停）止・夏季特別活動・合宿・経理・指導時数統計・運営委員会・部長会などの規程）

8/20 学校運営上の具体的諸問題について検討

9/27 道徳教育指導法研究。一中その他の文部省

指定の道徳教育協同推進校に関連し、校長の指導力向上につとめる。

10/10~16 九州方面県外視察、全日中長崎大会参加、本年度は、県外視察と全日中全国大会とをあわせて実施することにした。参加する者10名。学校訪問は、熊本市托磨中学校（道徳教育）で、それぞれ本市における緊要な問題について研修。その他、九州各地を巡り、文化、社会事情について視察、有意義な研修であった。

11/12 小中合同の講演会。演題一人間教育の原点 子どもの性真・性格・講師 茨城大名誉教授 塚本和義先生

その他、全日中総会ならびに関プロ上越大会に参加する者あり、それぞれ、緊要な問題の解決に参加し、得るところ大いにあり。

### 全日中編集部だより

全日中の機関紙「中学校」は、われわれ会員に密着した会報である。次に本年度の各号のテーマを一覧にしたので諸賢のご活用をお願いしたい。

年 月

- 5.1. 4 新校長に期待するもの 国立教育会館
- 5 学校経営と現職教育 筑波分館長
- 6 学校管理と施設の開放 鈴木奎吾執筆
- 7 第27回総会
- 8 私の家庭教育
- 9 道徳教育と生活指導
- 10 役員研修会講演
- 11 学校教育と学習塾 一条中学校長
- 12 生涯教育と余暇指導 篠原俊雄執筆
- 5.2. 1 第27回長崎大会
- 2 専修学校制度と進路対策
- 3 主任制度 城山中学校長 飯野昭執筆

なお編集者からの投稿は

- 「授業人間について」（林竹二著）新刊紹介5月号
- 「道は開ける」（カーネギー著）新刊紹介10月号
- 「文化の日に思う」随想11月号

さらに本県の学校紹介として4月号に「人間味あ

ふれる教育」（今市中）が載っていますのでご一読いただきたいと存じます。

### 要 望 書

本会では、県当局に対し、既報のように次の5本の柱をたてて、要望書を提出し、その実現方についてお願いをした。（昭和51年10月28日）

### 要 望 書

本県中学校教育の振興につきましては、格段の御配慮を賜わり、充実の一途をたどりつつありますことは誠に感謝にたえません。

激動の諸情勢の中で、教育界も重大な局面を迎えておりますが、本県中学校長会は、それらをふまえながら、教育の正常な推進に全力を尽くし、学校運営の充実強化に努めております。

今後なお一層の本県中学校教育の充実を図るため、更に一段のご高配を賜わりたく、本県中学校長会の総意にもとづき下記事項の実現を要望いたします。

記

- 1 生徒の教育条件の充実促進に関する事項
- 2 教職員人材確保対策の推進
- 3 教職員の勤務条件・待遇の改善
- 4 福利厚生事業の拡大
- 5 各種教育事業に対する県費補助の増額

### << 編集後記 >>

会報第3号は、主として、各地区校長会の活動状況をお載せした。

なお、われわれの機関紙「中学校」の毎月号の特集テーマを一覧にした。発行がたいへん遅れて申し訳ありません。寒さ厳しき折、諸賢のご自愛ご健勝をお祈りして筆をおきます。